

# 森づくり・里山里林保全

## アセスメントの手引き（基準）

2009年9月19日  
環境プランニング学会

### 1. はじめに

この「手引き」は、森づくりや里山里林保全活動に対して、  
生物多様性からみた環境負荷の把握がなされる  
記録管理（作業日誌等による）がなされる  
ことを評価して、活動地域の履歴を残すことを目的とする。

### 2. 評価大項目

- 1)活動の概要
- 2)在来種、従来種、原種管理
- 3)保全活動による環境負荷
- 4)付随的に発生する環境負荷の処置
- 5)森、里山里林の健全度

### 3. 評価基準

#### 1)活動の概要

##### 【水準到達度】

- 5点 生物多様性向上の持続可能なレベルに見合ったものが作成されている。
- 4点 生物多様性向上に見合ったものが作成されている。
- 3点 活動内容が理解できるものが作成されている。
- 2点 活動内容の一部が理解できるものが作成されている。
- 1点 作成されているが、抽象的であいまいである。
- 0点 作成されていない。

#### 2)在来種、従来種、原種管理

##### 【水準到達度】

- 5点 生物多様性上の環境負荷とそれに対する対策が施され、生物多様性に好影響をもたらす状況が構築され、その状況が持続可能なレベルに至っている。
- 4点 生物多様性上の環境負荷把握とそれに対する対策が施され、生物多様性に好影響をもたらす状況を構築できている。
- 3点 生物多様性上の環境負荷把握とそれに対する対策が施されている。
- 2点 生物多様性上の環境負荷把握とそれに対する対策が考えられている。
- 1点 生物多様性上の環境負荷把握がなされている。
- 0点 生物多様性上の環境負荷把握がなされていない。

#### 3)保全活動による環境負荷

#### 4)付随的に発生する環境負荷の処置

##### 【水準到達度】

- 5点 必要事項が把握されている

- 4点 ほとんどの必要事項が把握されている
- 3点 一部の事項が把握されている
- 0点 把握されていない

5) 森、里山里林の健全度

【水準到達度】

- 5点 大変良い
- 4点 良い
- 3点 平均的
- 2点 すこし不良
- 1点 かなり不良
- 0点 不良

4. 評価手順

評価チェックリストから、評価項目が当該地域の活動評価に適しているか否かを判定する  
 適合項目について、評価を実施する  
 評価項目の評点は、各5点～0点とする  
 大項目の各項目の合計点が20点満点になるように、適合項目数に応じて係数倍する  
 大項目の合計点が100点満点になるように、大項目数に応じて係数倍する。

5. 採点・評価

総合点	100～81	80～61	60～41	40～21	21～0
生物多様性評価	優良	良	平均的	やや不良	不良